

新作会発 第16-1号  
精保 第54号  
平成24年5月28日

精神科医療機関管理者様  
精神科病院看護部長様  
精神科作業療法士長様  
障害福祉サービス事業所管理者様  
相談支援事業所管理者様  
地域活動支援センター管理者様  
市町村長様  
障害者地域生活支援センター管理者様  
地域振興局健康福祉（環境）部長様

新潟県作業療法士会  
会長 横田 剛  
新潟県精神保健福祉センター  
所長 阿部 俊幸  
(公印省略)

平成24年度精神障害者地域移行支援研修会

## 精神障がい者の地域移行に関する研修会のご案内

日ごろ、精神保健医療福祉の推進に御尽力いただき厚くお礼申し上げます。

このたび、精神障がい者の地域生活への移行と退院後の地域生活の継続を支援するため、標記研修会「多職種の役割と連携 つなげよう！！医療と地域のネットワーク」を別紙のとおり実施することとなりました。

つきましては、関係職員の出席について御配慮くださいますようお願い申し上げます。

### <連絡先>

新潟県精神保健福祉センター 担当：山岸

[Tel] 025 - 280 - 0111 [Fax] 025 - 280 - 0112

[E-mail] [yamagishi.rie@pref.niigata.lg.jp](mailto:yamagishi.rie@pref.niigata.lg.jp)

新潟県作業療法士会 担当：菊入

(田宮病院 作業療法センター)

[Tel] 0258 - 46 - 3200 [Fax] 0258 - 46 - 7300

[E-mail] [tamiya-ot@sutokukai.or.jp](mailto:tamiya-ot@sutokukai.or.jp)

## ～精神障がい者の地域移行に関する研修会～

# 多職種の役割と連携 つなげよう!!医療と地域のネットワーク

退院支援に取り組もうとするとき、病院内外での他職種との連携や地域の支援者とのつながりがとても重要であることを実感します。そして、今年度からスタートする「地域相談支援」には、医療と地域の支援者がこれまで以上にそれぞれの立場と専門性を理解し、よりいっそう多職種多機関の連携が求められると思われま

す。今回の研修は、「多職種」・「役割の理解」・「連携」をテーマに他職種や他機関の専門性を理解し、どのように退院や地域定着支援に活かしていくのか、それぞれの現場の立場からの意見を出し合い、明日の実践に生かせるヒントを持ち帰っていただきたいと思

います。ぜひ、皆様のご参加をお待ちしております。



【日 時】平成24年8月18日（土）10:00～16:15（受付開始9:30）

【会 場】朱鷺メッセ 中会議室

（住所：新潟市中央区万代島6番1号 TEL：025-246-8400）

【参加費】無 料

【定 員】100名（先着順）

【内 容】裏面プログラム参照

【対 象】  
・精神科医療機関の医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士等  
・障害福祉サービス事業所、相談支援事業所、地域活動支援センター等地域機関スタッフ  
・市町村（保健師・障がい福祉担当・生活保護担当等）職員  
・県及び新潟市委託事業所担当者、保健所精神保健福祉相談員  
・その他、精神障がい者の支援に携わっている者

【申込条件】<医療関係スタッフの皆様へ>

◎「看護師+作業療法士」、「看護師+精神保健福祉士」といったペアないし複数人でご参加ください。 ※ご都合がつかない場合は、お1人での参加も可能です。

◎地域移行・地域定着支援（退院支援）を試みてみたいと考えている事例を事前に提出してください。

<地域支援スタッフ等の皆様へ>

◎入退院を繰り返している、病院から退院支援を求められているなど、地域移行や地域定着支援で、他機関と検討したい事例を事前に提出してください。

【申込方法】平成24年7月25日（水）までに、精神保健福祉センターへお申し込みください。

◎参加申し込み → 別紙「FAX送信票」にて申込み

◎事例提出 → 別紙1「事例シート（演習用）」に記入し、メール又は郵送で提出（別紙2「事例シート（演習用）」の記入方法・提出方法参照）

多職種・複数人の参加で、研修効果が上がることを期待しています！

第Ⅱ部 演習にて、実際の事例を検討します。今年は地域支援スタッフからも募集しています！

【主催】新潟県精神保健福祉センター・新潟県作業療法士会

【共催】新潟県精神科病院協会・日本精神科看護技術協会新潟県支部・新潟県精神保健福祉士協会  
新潟県精神障害者社会復帰施設協議会、新潟市



## 第Ⅰ部 シンポジウム

(10:00 ~ 12:15)

### シンポジウム 「自分の役割と他職種に求めるもの」

コーディネーター 後藤 雅博 氏 (南浜病院：新潟市／院長 医師)

#### シンポジスト

羽田 誠之 氏 (黒川病院：胎内市／看護師)

菊入 恵一 氏 (田宮病院：長岡市／作業療法士)

古澤 圭 氏 (五日町病院：南魚沼市／精神保健福祉士)

地域の支援機関スタッフ(調整中)

市町村等行政機関スタッフ(調整中)

『地域移行・定着支援において、どのように自分の専門性を発揮していくのか』、他職種の専門性を『どのように理解して支援に活かしていくのか』など、今回は「自分の役割と他職種に求めるもの」をテーマに、各職種の立場からお話しいただきます。

自分の役割を理解し、他職種との支援の輪をどのように広げていくのかを考える機会にしたいと思っています。

## 第Ⅱ部 演習

(13:15 ~ 16:15)

### 演習：グループでの事例検討

「どうしたらいいだろう…」 「こういうのはどうかな？」 って、分かち合いませんか？

総合ファシリテーター：羽田 誠之 氏 (黒川病院：胎内市／看護師)

：坂井 菜穂子 氏 (有田病院：新発田市／看護師)

グループファシリテーター：県障害者地域生活支援センター専門相談員

又は新潟市地域体制整備コーディネーター

昨年に引き続き、事前に提出していただいた実際の事例を基に、事例検討演習を行ないます。今年も、地域支援スタッフからも事例を提出していただき、医療と地域の更なる理解につなげていきたいと考えています。

実際の事例を基にすることで、リアルな地域移行・地域定着支援（退院支援）の一部を体験できます。また、各職種の専門性や各機関の役割への理解につながる機会になると思います。

保健・医療・福祉のコラボから生み出されたアイデアが、社会的入院を余儀なくされている精神障がいの方々の明日を拓くはずです。

### 《問合せ先》

新潟県精神保健福祉センター 担当：山岸

[Tel] 025 - 280 - 0111 [Fax] 025 - 280 - 0112 [E-mail] yamagishi.rie@pref.niigata.lg.jp

新潟県作業療法士会 担当：菊入 (田宮病院 作業療法センター)

[Tel] 0258 - 46 - 3200 [Fax] 0258 - 46 - 7300 [E-mail] tamiya-ot@sutokukai.or.jp

## 演習用 事例シート

## 記入例

所属機関名	〇〇病院		
担当者名	〇井 〇子	職種	看護師
	△山 ☆男	職種	精神保健福祉士
		職種	

\*入院期間が1年以上（又は1年未満だが地域移行地域定着の支援が特に必要と思われる）方の事例をお持ち下さい。

事例名 (イニシャル等)	A. O. さん	年齢	55歳	性別	女性										
診断名	統合失調症	身体合併症等	糖尿病												
経済状況	障害基礎年金	住居	有・ <b>無</b>												
利用制度	精神保健福祉手帳2級		住居の周辺状況												
入院期間	12年 0ヶ月														
	長期入院の理由 ・本人の退院意欲の低下（入院当初は退院を希望していた。） ・家族（本人の兄弟）が本人の退院を拒否														
生活歴 治療歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校卒業後、自宅を離れ〇〇関係の会社に勤務しながら、定時制高校卒業。</li> <li>・ 会社で知合った男性と〇歳の時に結婚。〇歳で出産後、育児に対する不安増強。家事育児ができなくなり、精神科初診。「うつ」との診断。</li> <li>・ 〇歳～〇歳まで、服薬継続も症状不安定。10回入院を繰り返す。物を盗られたという妄想が出てくる。家人とトラブル。〇歳の時、離婚し、実家に戻る。親権は夫側に。実家は兄が継いでいた。</li> <li>・ 〇歳の時、転院後、入院中に「統合失調症」の診断を受ける。1年6ヶ月入院。退院後、服薬継続するも1年に1回以上は入院となっている。</li> <li>・ 〇歳、20回目の入院。現在に至る。</li> <li>・ 現在、作業療法に週1回30分参加。</li> </ul>														
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">服薬状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エビリファイ</td> <td>12mg 朝1錠</td> </tr> <tr> <td>オイグルコン</td> <td>2.5mg 朝1錠</td> </tr> </tbody> </table>					服薬状況		エビリファイ	12mg 朝1錠	オイグルコン	2.5mg 朝1錠				
服薬状況															
エビリファイ	12mg 朝1錠														
オイグルコン	2.5mg 朝1錠														
現在の 病状等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活発な陽性症状は治まっている。年に2～3回、被害妄想あり。「物を盗られた」と同室者を責めることがあるが、一瞬で治まるため大きなトラブルとならない。</li> <li>・ 意欲低下。日中ベッドで横になっていることが多い。他者との交流なし。院内レクにも参加しない。</li> <li>・ 衣類交換・入浴・洗面等の清潔保持への関心は低い。声かけをすると行うことはできる。</li> <li>・ カロリー制限あり（1800kcal）</li> </ul>														
病状悪化時の具 体的な症状及び エピソード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不眠・多弁がみられ、被害妄想により、怒りっぽくなる。</li> <li>・ 人に物をあげる、必要のないものを購入する、借金するなどの浪費が見られる。（今は上記のような症状は見られない）</li> </ul>														
家族状況 (家族構成、 関係性等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 兄が存命中は入院しても、実家に戻ることができていたが、本人〇歳の時、兄がなくなり甥が家を継ぐと、本人の受入を拒否。長期入院となる。</li> <li>・ 身元引受人は甥の名前で、入院中の本人への対応は姉。年に1～2回兄弟が面会。院外の外出はこのときのみ。</li> <li>・ 甥は同居拒否。兄弟も高齢で世話できないと話している</li> </ul>														
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">家族構成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ = ●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ = ○</td> <td>○ = □</td> </tr> <tr> <td>○ = ○</td> <td>◎ = □</td> </tr> <tr> <td>□ = ○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>					家族構成		■ = ●		■ = ○	○ = □	○ = ○	◎ = □	□ = ○	○
家族構成															
■ = ●															
■ = ○	○ = □														
○ = ○	◎ = □														
□ = ○	○														
現在の支援状況	姉へ定期的な連絡をするなど退院に向けた家族とのつながりの確保を図っている。														
地域移行(退院) についての考え	<p>(本人) 先生からGHが見つかるまで入院していると言われた。GHがどんなところなのか不安。</p> <p>(主治医) 症状は安定したが、意欲低下がみられる。退院先と生活支援の確保が必要。</p> <p>(家族：姉) 自分達自身の生活もある。今以上の負担は負えない。</p>														

**医療機関スタッフの皆様へ**

事例を提出いただくことになりお手数をおかけします。研修効果を高め、地域移行・地域定着をますます進めるきっかけとし、演習で出た様々なアイデアをお持ち帰りいただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

**地域の支援者の皆様へ**

今年度は地域支援スタッフの皆さんからも地域移行や地域定着の支援で苦労されている事例がありましたら、積極的に事例提出をしていただきたいと思います。

研修効果を高め、地域移行・地域定着をますます進めるきっかけとし、演習で出た様々なアイデアをお持ち帰りいただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

**1. 事例の選定方法**

- 皆さんが地域移行・地域定着支援（退院支援）を試みてみたいと考えている事例を選んでください。
- 入院期間が1年以上又は1年未満だが地域移行や地域定着の支援が特に必要と思われる方（「地域相談支援」の対象）の事例をお願いします。

**2. 事例シートへの記入方法**

- 別紙1の「記入例」を参考にご記入ください。

**3. 事例シートの提出方法**

- メールでの提出 → 

yamagishi.rie@pref.niigata.lg.jp 新潟県精神保健福祉センター 山岸 宛
--

\*事例シートのワードファイルが必要な方は、件名に「演習用ワードファイル希望」とご記入の上、氏名・連絡先・所属機関がわかるようにし、上記アドレスへメールを送信してください。着信を確認後、ファイルをお送りします。お手数をおかけします。

- 郵便での提出  
→ 郵便でのご提出の場合は、簡易書留で郵送願います。郵便局窓口で簡単な手続きが必要になります。お手数ですがよろしくお願いいたします。

**事例提出期限：平成24年7月25日（水）**

**事例シートの取り扱いについては、本研修のみに用い、厳重に管理させていただきます。**

**4. 検討事例についての連絡**

申込事例が多い場合、演習グループ数等の都合から、主催・共催団体であらかじめ演習での検討事例を絞らせていただく予定です。ご検討いただく事例となった場合は、**8月10日（金）までに**、主催者より事例提出者（申込担当者）様あてに電話等で御連絡させていただきます。よろしくお願いいたします。

**<問合せ先>**

新潟県精神保健福祉センター 担当：山岸

〔Tel〕 025 - 280 - 0111 〔Fax〕 025 - 280 - 0112 〔E-mail〕 yamagishi.rie@pref.niigata.lg.jp

新潟県作業療法士会 担当：菊入（田宮病院 作業療法センター）

〔Tel〕 0258 - 46 - 3200 〔Fax〕 0258 - 46 - 7300 〔E-mail〕 [tamiya-ot@sutokukai.or.jp](mailto:tamiya-ot@sutokukai.or.jp)